

フグ毒（テトロドトキシン）食中毒模擬訓練の実施と分析法の検討

保健科学課 河野 嘉了・藤井 優寿・井邊 早春

中央区保健福祉センター衛生課 宮地 夏海

環境科学課 常松 順子

平成 29 年度食品衛生研究発表会

フグによる食中毒はフグの体内に含まれるテトロドトキシンが原因である。日本では毎年フグによる食中毒が発生し、死亡例も報告されている。食中毒発生時には正確な分析と迅速な対応が求められるが、本市では平成 27 年以降フグによる食中毒は発生していないため、分析経験のない職員が増えてきた。そこで、分析技術の継承のため模擬訓練を行った。また、分析時間の短縮のため、LC-MS/MS での測定条件について検討し添加回収試験を実施したところ良好な結果が得られた。今回検討した分析法を用いることで、従来法と比べ同等の精度で分析時間を大幅に短縮することができ、フグによる食中毒発生時の迅速な対応が可能となった。